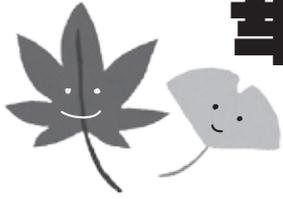


はな 華ちゃんのすてきな作文



横浜市立 ^{ひがしいちがお}東市ケ尾小学校の竹内京子先生から届いた手紙には、^{ひらくほはな}平久保華ちゃん(2年生)が日光市について書いた作文が同封してありました。華ちゃんがその作文をクラスで発表すると、子どもたちが「日光市ってすてきなまちだね」と感激し、興味を持ったそうです。小さな観光大使、華ちゃんの作文を紹介します。

〈わしくは 秘書広報課 広報広聴係 ☎21-5135〉

SLのつたよ

平久保 華

わたしのおじいちゃん、おばあちゃんのおうちは、栃木県日光市今市です。わたしが住んでいる市ケ尾より少しいなかです。

今年の夏、わたしがいかに帰ったときいつものりおりしている下今市駅で、SLがふっかつきました。SLを走らせている東武鉄道が「栃木県には、かん光地がいっぱいあったのしいから、もっとたくさんの人にあそびに来てほしいな。」と思って、SLふっかつうんでんプロジェクトをはじめたそうです。SLの名前は、力づく、大きくそだってほしいという思いをこめて「大樹」にきまりました。

わたしもSLにのるために、おぼんに家ぞくみんなでお父さんのじつ家に帰りました。わたしは、きぬ川から下今市にむかうSLのチケットをとったので、まずはきぬ川でかん光をたのしみました。家ぞくみんなで行ったので、どんなだろ

うかとわくわくしました。

駅には、SLを見るためにたくさんの方があつまっていました。SLはじょうきやくをおろしたあと、むきをかえるためにてん車台に入ります。大きな汽てきをポッポーとならし、黒いけむりをもくもくさせながら走るSLは、とてもかっこよかったです。横浜では見られない風けいです。

てん車台では、ゆつくりと回ってあつまっている人のためにと中で止まって、しゃしんをとらせてくれました。でも、手がとどきそうなきより何でも「ポッポー」とならずので、耳をふさがないといられませんでした。

その日はSLじょうきやくげんていで、手ぬぐいにSL大樹のスタンプと手形をおすイベントをしています。家ぞく四人の手形をきれいにしておせて、いい思い出になりました。ホームでは、SL大樹としゃしんとれたし、SLがえがかれていたカードやせんすなどプレゼントもあり、たのしかったです。



SLは三号車まであり、わたしは二号車のまん中の席でした。出ばつすると、かん光アテナダントとよばれるおねえさんが、一席ずつまわって切符をかくにしながらかん光あん内をしてくれました。わたしはそこでおすすめされたSLの石炭をイメージした「黒いアイスいちご」を買って食べることにしました。ひと口目はドキドキしてへんなあじがしたけど、二、三口食べたなら本当にいちごのあじがしておいしかったです。お父さんと半分こして食べおわると、お母さんがニヤニヤしてわたしを見ていたので「なんだらう。」と思いました。するとお母さんは「あつはつは、どろ

ぼうみたい。」とわらい出しました。かがみで見ても、口のまわりがまっ黒、そして口の中もまっ黒、まるでまっくろくろすけが口の中に入ってしまっただけでした。家ぞくみんなで顔を合わせて大わらいしてしまいました。

雨だったので、まどから見えるけしきは、黒っぽかったけれど、色々な人が手をふつてくれて「人気なんだなあ、のれてよかったなあ。」と思いました。

日光の秋は、こうようがきれいだし、冬はきぬ川のおんせんであたままれるし、さい高です。わたしの大好きな町です。ぜひみなさんも、お父さんのふるさと日光にあそびに来てください。